

報道関係者各位

一般社団法人竹芝エリアマネジメント
一般社団法人芝浦エリアマネジメント
株式会社世界貿易センタービルディング

向暑の旧芝離宮に満開の“光の桜”が咲き誇る潮風と呼応するインタラクティブ・ランドアート
「旧芝離宮夜会 by ワントゥーテン ～ひかりさくら～」5/25(水)～5/28(土)に開催



「旧芝離宮夜会 by ワントゥーテン ～ひかりさくら～」WEB サイト：<https://yakai.1-10.com/>

一般社団法人竹芝エリアマネジメント(本社:東京都港区、代表理事:田中敦典)と一般社団法人芝浦エリアマネジメント(本社:東京都港区、代表理事:青柳 彰浩)、および株式会社世界貿易センタービルディング(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮崎親男)は、株式会社ワントゥーテン(本社:京都市、代表取締役社長:澤邊芳明)を総合演出に迎え、竹芝地区のエリアマネジメント活動、芝浦地区のエリアマネジメント活動及び浜松町地区のエリアマネジメント活動の一環として、地域活性化を目的とした夜間ライトアップイベント「旧芝離宮夜会 by ワントゥーテン ～ひかりさくら～」を主催者公益財団法人東京都公園協会と共に開催することをお知らせいたします。

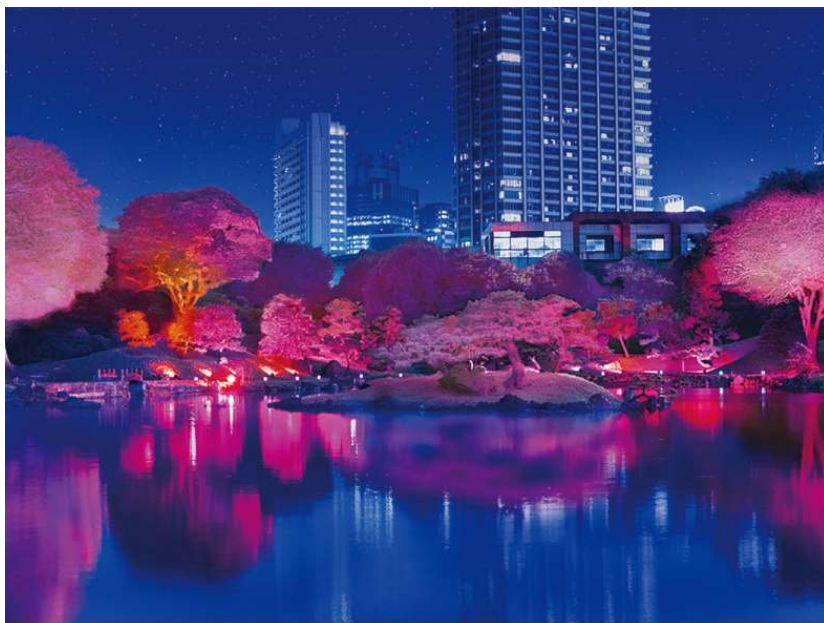
本イベントが実施される竹芝・浜松町エリアは、大型開発が進められ、今後の更なる活性化が期待されるエリアです。このエリアでのナイトタイムエコノミーの新たな施策として、重要な資源でもあり、文化財保護法により、国の「名勝」として指定されている旧芝離宮恩賜庭園でのライトアップイベントを2018年度より継続して開催し、大きな注目を集めています。

今回の「旧芝離宮夜会 by ワントゥーテン ～ひかりさくら～」の舞台となるのは、今年の桜も散ってしまった、5月下旬・向暑の旧芝離宮恩賜庭園。コロナ収束への願いや「もっと花見を楽しんでもらいたい」という思いをこめ、ライトアップやプロジェクションマッピングなどのデジタル演出による、“光の桜”を満開に咲かせます。

■『旧芝離宮夜会 by ワントゥーテン ～ひかりさくら～』について

旧芝離宮の歴史のはじまりは、1686年、江戸時代までさかのぼります。老中・大久保忠朝が、四代将軍徳川家綱から拝領したこの地に作った「楽壽園」と呼ばれる庭が、その起源。当時の庭は海に面し、池は海水を引き入れた「汐入の池」でした。きっと、この場所でくつろぐ人々にまで、心地よい波音や爽やかな潮風が届いていたことでしょう。そして、約350年経った現代。当時の情景が思い浮かぶような、潮風と呼応する“光の桜”のショーをお届けします。

「潮風と呼応するライトアップ」



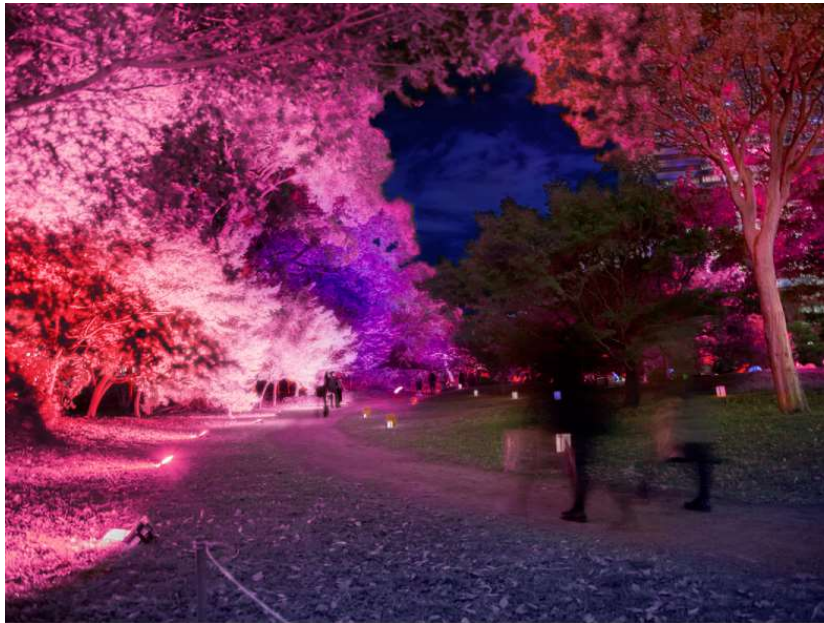
桜が咲いていた今年3月～4月の竹芝エリア海上の気象情報をもとに、木々を照らす光の動きや色の変化などをプログラミング。悠久の時を超え、江戸時代の人々も感じた潮風、そして桜の季節とシンクロする、超時空体験をお楽しみください。

「ソーシャルディスタンス・サクラプロジェクション」



来場者同士が距離を保つと、演出が華やかに変化する光のアート。コロナ終息への願いやお花見を楽しみたいという思いが“光”となり、夜の旧芝離宮に“光の桜”を咲かせます。

「桜舞う光の散策路」



桜色にライトアップされた木々を間近に眺めながら巡る、ナイトウォークエリア。“光の桜”に包まれる幻想的な世界に誘います。

「YAKAI DINING Supported by 日光江戸村」



誰もが楽しめる串焼きなどの定番メニューから、桜を感じさせる華やかなドリンク、和スイーツまで。“光の桜”が彩る上質な空間の中で、ゆっくりと宴をお楽しみいただけます。

■イベント実施概要

【イベント名】旧芝離宮夜会 by ワントゥーテン ～ひかりさくら～

【WEB サイト】<http://yakai.1-10.com/>

【開催時期】 2022年5/25（水）～5/28（土） 18:00～21:30（最終入場 20:45）

※荒天または雨天の場合は、主催者判断により中止や実施内容を変更する場合があります。中止および実施内容を変更する場合は、旧芝離宮恩賜庭園ツイッター（@Kyushibarikyū）でご案内いたします。

ご不明な場合は、旧芝離宮恩賜庭園サービスセンター（03-3434-4029）までお問合せください。

【開催場所】旧芝離宮恩賜庭園 一部 東京都港区海岸一丁目

【入園料】2,000円（飲食チケット1,000円分付き）

※入場後のwebアンケート回答者に東京ポートシティ竹芝500円分電子ギフト券をプレゼントします。
※払い戻しはイベント終了まで可能です。

【主催】公益財団法人東京都公園協会

【総合演出】株式会社ワントゥーテン

【共催】一般社団法人竹芝エリアマネジメント、一般社団法人芝浦エリアマネジメント、株式会社世界貿易センタービルディング、株式会社ワントゥーテン

【後援】竹芝地区まちづくり協議会

【飲食協賛】江戸ワンダーランド日光江戸村

【特別協賛】株式会社アートブレンカンパニー

【協賛】ウォーターズ竹芝（一般社団法人竹芝タウンデザイン）、鹿島建設株式会社、清水建設株式会社

【協力】一般社団法人CiP協議会

【制作協力】西尾レントオール株式会社、株式会社サーフレジエント

■旧芝離宮恩賜庭園について

東京に残る最も古い大名庭園のひとつ。1678年に老中大久保忠朝が、将軍徳川家綱より拝領した土地に屋敷と「楽寿園」という名の庭を作ったことが始まり。園内の池は当時、海水が流れ込む潮入りの池であった。そのため、周囲を埋め立てられ淡水の池となった今でも「砂浜」などの名残をとどめる。

忠朝が小田原藩主であったことから、根府川山や中島には根府川石が用いられている。池を囲むように各所に配された石組には一見の価値がある。明治期には宮内庁所管となり、洋館が建てられ、外国要人らのもてなしの場として利用された。

関東大震災の際に建物や樹木が焼失。その後の開発で庭園が毀損されるなど、何度も存続の危機にさらされるが、失われた景観を取り戻すべく修復されてきた。

現在は国の名勝指定を受けた文化財庭園として公開されている。

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index029.html>

■一般社団法人竹芝エリアマネジメントについて

一般社団法人竹芝エリアマネジメントは、東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志）と鹿島建設株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：天野 裕正）が2社共同で開発した東京ポートシティ竹芝におけるエリアマネジメント活動の一環として、株式会社アルベログランデ※1及び東急不動産株式会社とで設立した竹芝地区のエリアマネジメント活動を行うための一般社団法人。

※1 株式会社アルベログランデ：東急不動産株式会社と鹿島建設株式会社が設立した事業会社

<https://takeshiba-am.com/>

■一般社団法人芝浦エリアマネジメントについて

一般社団法人芝浦エリアマネジメントは、野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：松尾 大作）と東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤 祐二）の2社が、共同で推進する「芝浦一丁目プロジェクト」のエリアマネジメント活動を推進するために設立した。芝浦一丁目地区まちづくり協議会との連携のもと、水辺空間や運河等の地域資源や将来的に整備される屋外空間を活用し、地域コミュニティの活性化や防災性の向上に寄与する活動に取り組む。

■株式会社世界貿易センタービルディングについて

株式会社世界貿易センタービルディングは、1964年12月設立。現在、東京都港区浜松町「世界貿易センタービルディング南館」及び品川区大崎「ThinkPark Tower」のビルを2大拠点として、オフィス・商業賃貸や運営管理等を実施。今後「浜松町駅西口開発計画」の一環として、世界貿易センタービルの建て替え（新本館・ターミナルの建設）及び浜松町周辺エリアの魅力的なまちづくりの活性化に取り組んでいる。

<https://www.wtcbldg.co.jp/>

■株式会社ワントゥーテン／1→10, Inc. について

人間の永遠の課題に挑み、創造力で人類の可能性をひらく、近未来クリエイティブカンパニー。最先端のAI技術を駆使したサービス開発やプロジェクションマッピング・XRを活用した数々のプロジェクトを日本国内及び世界各国で展開する。日本の伝統に創造性とテクノロジーを掛け合わせ日本をアップデートする「ジャパネスクプロジェクト」、パラスポーツとテクノロジーを組み合わせたスポーツエンタテインメント「CYBER SPORTS プロジェクト」など、先端テクノロジーによる社会課題解決をテーマに世界中の人々の知的好奇心をかき立て続ける。